

<b>ジメタメトリン・ピラゾレート・プレチラクロール・プロモブチド粒剤</b> <b>クサトツタ1キロ粒剤</b>	<b>取扱メーカー：</b> 三井アグロ <b>原体メーカー：</b> 日産、三井アグロ、シンジェンタ、住友化学
<b>成分：</b> ジメタメトリン〔トリアジン系〕……………0.60% ピラゾレート〔ピラゾール系 PRTR・1種〕……………12.0% プレチラクロール〔酸アミド系 PRTR・1種〕……………4.5% プロモブチド〔酸アミド系〕……………6.0% <b>その他 PRTR 該当成分：</b> 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩〔PRTR・1種〕…1.2%	<b>性状：</b> 類白色細粒 <b>毒性：</b> 普通物 <b>消防法：</b> —

## 【品目特性】 ……………

- ノビエを始めとする水田一年生雑草から各種の多年生雑草に優れた効果を示す。
- スルホニルウレア系除草剤に抵抗性を獲得したホタルイ、アゼナ類、コナギ、アゼトウガラシ、キカングサ、ミゾハコベ、ミズアオイ等にも高い効果がある。
- アオミドロ・藻類による表層はく離、ウキクサ等の発生を強く抑制する。
- 長期に渡って優れた防除効果を発揮する。
- 稲への安全性が高く、環境に対する影響が少ないので、安心して使用できる。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

## 【使用上のポイント】 ……………

- 共通注意事項の5、水稲除草剤散布 使用上のポイント参照。
- 散布後少なくとも3～4日間は通常の湛水状態を保つ。
- 雑草の発生前から発生始期に有効なので、ノビエの2葉期までに時期を失しないように散布する。
- 多年生雑草は生育段階によって効果にフレがあるので、必ず適期に散布する。

雑草名	散布適期
ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ	2葉期まで
ヘラオモダカ	発生始期まで
ヒルムシロ	発生期まで
セリ	再生始期まで
アオミドロ・藻類による表層はく離	発生前

- 直播水稲栽培では、前処理剤との組み合わせで使用する。
- 移植前後の初期除草剤による土壌処理との体系で使用する場合には、雑草の発生状況をよく観察し、時期を失しないよう適期に散布する。

## 【薬効・薬害等の注意】 ……………

- 共通注意事項の5、水稲除草剤散布 薬効・薬害等の注意を参照。
- 適用作物（水稲）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。これら条件と梅雨明けなどによる散布時又は散布後数日間の異常高温が重なると、初期生育の抑制が顕著になることがある。

## 【安全対策上の注意】 ……………

- 眼に対して刺激性があるので眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。
- カブレやすい体質の人は取扱いに十分注意する。
- 魚類、藻類に影響を及ぼすので、養魚田では使用しない。また、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。散布後は水管理に注意する。



【適用と使用法】 .....

作物名	適用雑草名	使用時期	10 a 当り 使用量	使用方法	本剤の 使用回数
移植水稻	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヘラオモダカ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による 表層はく離	移植時	1 kg	田植同時散布機で施用	1 回 ※
		移植直後～ ノビエ 2 葉期 但し、 移植後 30 日まで			
直播水稻	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヒルムシロ	稲 1.5 葉期～ ノビエ 2 葉期 但し、 収穫 90 日前まで		湛水散布	

※ジメタメトリンを含む農薬の総使用回数 : 2 回以内  
 ※ピラゾレートを含む農薬の総使用回数 : 2 回以内  
 ※プレチラクロールを含む農薬の総使用回数 : 2 回以内  
 ※プロモブチドを含む農薬の総使用回数 : 2 回以内